

生きる力を育てる!

『じゃれつき遊び』 講演と実技

2019年 7月27日【土】 受付9:30～ 開演10:00～12:00

会場 宇都宮市茂原健康交流センター

栃木県宇都宮市茂原町777-7 / TEL 028-654-2815

講師・講演内容 ※裏面に講演要旨

講師：さつき幼稚園理事長 井上 高光氏 (日本子ども学会理事)

10:00～ 講演『生きる力を育てる じゃれつき遊び』

11:00～ じゃれつき遊び ※動きやすい格好がお勧めです!



井上 高光氏

参加費 1名**100円**(保険料) ※定員25組の親子(2～7歳児)

参加者全員に『脳を鍛えるじゃれつき遊び』を贈呈します。
(井上 高光 共著 / 小学館 3万部)



お問い合わせ・申し込み先

学校法人 さつき幼稚園

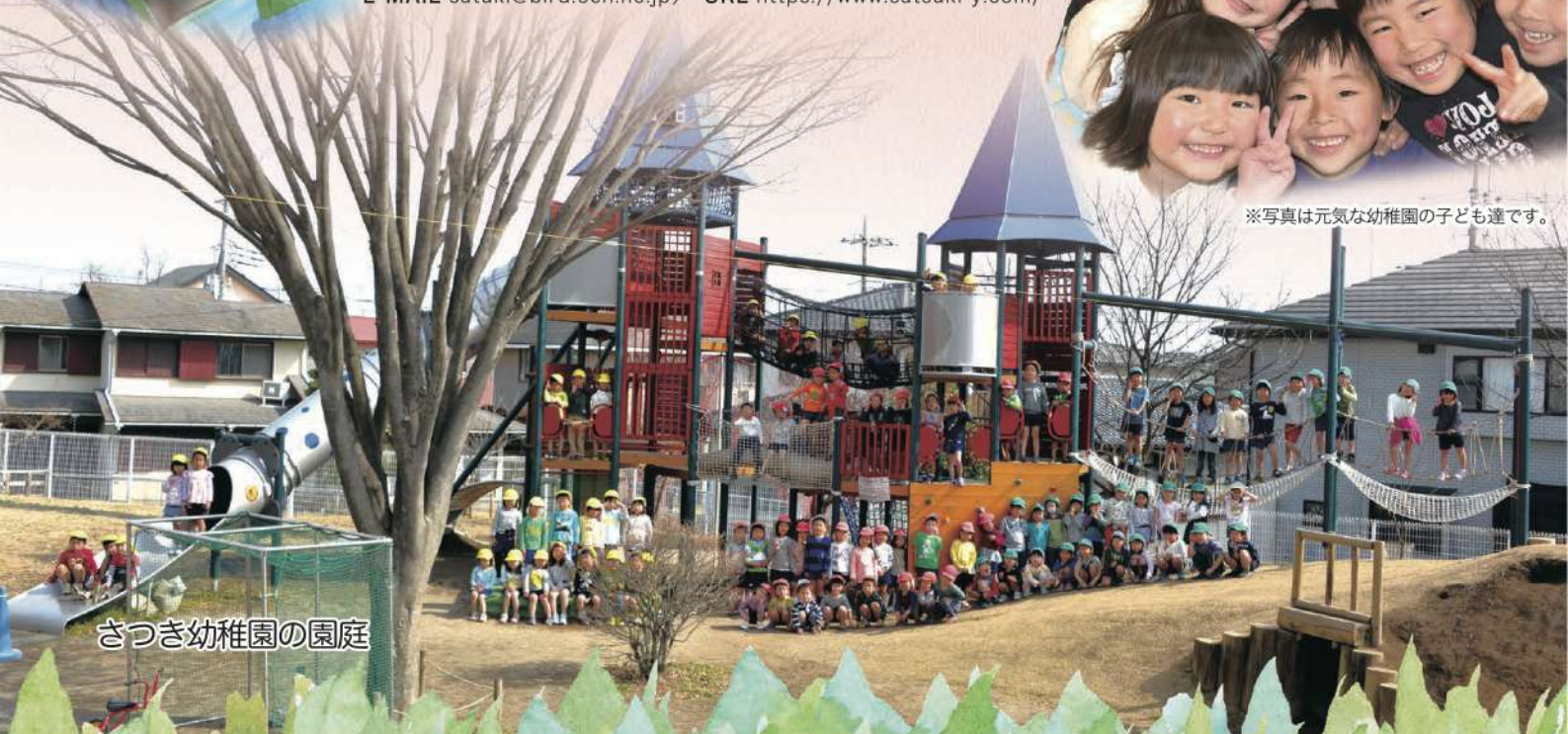
028-653-8267

〒321-0147 栃木県宇都宮市針ヶ谷町297-3

E-MAIL satuki@bird.ocn.ne.jp / URL <https://www.satsuki-y.com/>



※写真は元気な幼稚園の子ども達です。



さつき幼稚園の園庭

主催 / 学校法人 さつき幼稚園・宮ビルサービス(株)

1. 食べること・遊ぶことが乳幼児の生甲斐

「食べることと遊ぶこと」は乳幼児の生きがいと言っても過言ではありません。「食べることと遊ぶこと」が子ども達の生きがいになっていない子ども達が急増しているようです。

2. 乳幼児期の生活の中心課題は“十分な運動”

10年ほど前から日本中で大キャンペーン「早寝・早起き・朝ごはん」が展開されてきました。結局子ども達に根付かないで、もはや忘れ去られてしまった。これには、決定的な欠点があったとみています。乳幼児の生活の大半は「遊び」なのに、「遊び」の視点が欠落しておりました。活発で十分な運動量があれば、食欲が旺盛で早寝につながり、早起きができ朝ごはんを美味しく食べ一日のサイクルが整うこととなります。政府が莫大な予算を投じた大キャンペーンが失敗に終わったことで、子ども達が子どもらしく育っていないことが改めて実証されたわけです。

3. 静かにしなさいと叱り飛ばす

「現代っ子」の大きな問題の一つは、「落ち着きがない」「集中力がない」ことです。「落ち着き」「集中力」は、何をするにも必要な基本的な能力なので、将来が大変心配になります。そこで、「静かにしなさい。静かにしなさい。静かにしなさい。」と親は叱り飛ばすこととなります。しかし、子どもの本音を聞けば、「静かにしなさいと叱る前に、僕の大脳を静かにできるように育ててから言ってくれ」と言うはずです。

4. 近代化すると子ども達は子どもらしく育たなくなる

私は、40年間幼稚園教育に携わってきましたが、「現代っ子」の育ちに大変危機感を抱いております。日本の子育て文化の底が抜けてしまったのではないかと危惧しております。子どもの体の問題の第一人者だった故正木健雄日本体育大学名誉教授の40年以上に及ぶ研究総括は「近代化すると子ども達は子どもらしく育たなくなる」「大脳前頭葉の未発達」です。我が国は近代化することを願って、明治維新以来「近代化」出来れば幸福になれると信じて走り続けてきましたが、「近代化すると子ども達は子どもらしく育たなくなる」とは。そこで、正木先生は「大脳前頭葉」を発達させる取り組みを日本中に探し回りましたが、1つも見つからなかったそうです。唯一発見したのが、本日皆さんに紹介する「じゃれつき遊び」です。

5. じゃれつき遊びは、脳科学の見地から極めて有効な実践

脳科学者小泉英明先生が「進化の過程で、人間同士の関係性の中で生きるのが人間。そのため人間関係に合った脳が造られてきた。人間同士の実体験が近代化と共に乏しくなってきたため、「じゃれつき遊び」は脳科学の見地から極めて有効な実践。一見非科学的に見えるが、脳科学から見ると科学的なアプローチ。意識化(大脳辺縁系)を活性化し育てている。興奮を充分体験すると、情動が発達し将来のやる気・志を高める」と述べられています。

大きな問題を抱え“発達不全”に向かっている現代っ子を育てられるのは、さつき幼稚園方式です。

